

6月定例議会の概要

新型コロナウイルス感染症対策と生活支援策を中心とした 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)など7議案を可決

6月定例議会を、6月3日から6月29日までの27日間の期間で開催しました。

まず、初日の3日には、「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)」など4件の議案が市長から提出され、提案説明が行われました。

11日、14日、15日、16日、17日には、22名の議員が一般質問を行いました。

17日には、議案4件を委員会に付託しました。また、市長から「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)」の議案が追加提出され、提案説明の後、質疑を行い、委員会に付託しました。

17日、21日、22日、25日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の29日には、付託議案について各委員長から審査結果の報告がありました。採決の結果、議案5件はいずれも可決しました。また、市長から「鈴鹿市教育長の任命同意について」など2件の議案が追加提出され、提案説明の後、採決の結果、いずれも同意することに決定し、散会しました。



各委員会での主な議案審査状況

予算決算委員会

予算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第36号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)

電子入札システムの導入により感染リスクを低減

○工事・業務委託等入札費 3,875万9,000円

(概要) 入札事務のIT化により、入札時の関係者の密集・密接を避けるため、電子入札システムの導入に要する経費を計上するもの。

質疑 今後、入札は全て電子入札で行っていくのか。

答弁 ICカードやパソコン関係の環境が応札者によっては整っていない場合もあり、導入後もしばらくの間は、紙と電子による入札を併用して行っていく予定である。物品購入に関する少額の随意契約の見積もりについては、見積金額に対する、市側に発生するシステム利用料との費用対効果を考慮する必要がある、運用基準を定めて、一定金額以上の案件について電子入札システムを利用した見積もりを行っていくと考えている。